



# 慶應義塾大学グローバルCOEプログラム 論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学グループ公開シンポジウム

## 医療人類学の最前線 I : 遺伝・神託・バイオテクノロジー

基調講演: **Margaret Lock**

(Dept. of Social Studies of Medicine, McGill University)

日時: **2009年1月10日(土) 13:00—17:00**

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館8階 <http://www.keio.ac.jp/access.html>

北米・医療人類学の第一人者であり、日本でも『脳死と臓器移植の医療人類学』、『更年期：日本女性が語るローカル・バイオロジー』、『都市文化と東洋医学』等の著書で知られるマーガレット・ロック先生をお迎えします。ロック先生に、遺伝、老い、リスクについてお話いただき、生命倫理・行動遺伝学の先生方に、最新の知見をご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。  
(会費無料・事前登録不要)

**Margaret Lock** (マッギル大学・医療人類学)

**Genomic Divinations:**

**Molecular genetics, Epigenetics, and Calculations of Future Risk for Alzheimer's Disease**

米本昌平 (東京大学 生命倫理)

「科学革命としてのヒトゲノム計画とその後の日本、ながはまプロジェクトを例に」

**Mohacsi Gergely** (東京大学 医療人類学)

**Genomic Interferences: Reflections on Difference and Similarity in Diabetes Research**

コメンテーター

安藤寿康 (慶應大学 教育心理学)

松原洋子 (立命館大学 科学史・科学技術社会論)

宮坂敬造 (慶應大学 文化人類学)

司会 北中淳子 (慶應大学・医療人類学)

主催・企画 慶應義塾大学・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会  
慶應義塾大学 GCOE 「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム  
<http://www.carls.keio.ac.jp/>

Centre for Advanced Research  
on Logic and Sensibility